

学校コード F134110109780

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 研究科等連係課程実施基本組織の設置

注1

事前相談

注2

広島大学大学院 スマートソサイエティ実践科学研究院

(博士課程後期)

【事前相談】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

国立大学法人広島大学

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	財務・総務室総務・広報部総務グループ
職名・氏名	シヨモン キタ ヨウコ 主任・北 陽子
電話番号	082-424-6014
(夜間)	082-424-6014
e-mail	soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

スマートソサイエティ実践科学研究所(博士課程後期)

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人広島大学

(2) 大学名

広島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒739-8529 広島県東広島市鏡山一丁目5番1号 〒739-8527 広島県東広島市鏡山一丁目4番1号
〒739-8528 広島県東広島市鏡山一丁目4番4号 〒734-8553 広島県広島市南区霞一丁目2番3号
(本部：〒739-8511 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号)

(注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オチ ミツオ) 越智 光夫 (平成27年4月)		
研究院長	(イシイ イタク) 石井 抱 (令和5年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
スマートソサイ エティ実践科学 研究院 博士(学術) 博士(工学) 博士(情報科学) 博士(農学) 博士(保健学) 博士(医科学) 博士(経済学)	経済学関係 工学関係 農学関係 医学関係 保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	3 年	17 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	51 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	17人				
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	6				
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5				
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5				
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5				
	入学定員超過率 B/A														0.29				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にして下さい。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
1年次	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	5 [4] (-)			
2年次	/		[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)		
3年次			/		[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
4年次					/		[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)
計			[-] (-)	[-] (-)			[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	5 [4] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	－人	－人	平成30年度	人	人	
令和元年度	－人	－人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	－人	－人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	－人	－人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	－人	－人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	5人	0人	平成30年度	－人	－人	
			令和元年度	－人	－人	
			令和2年度	－人	－人	
			令和3年度	－人	－人	
			令和4年度	－人	－人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<スマートソサイエティ実践科学研究院(博士課程後期)>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学学域共通科目	持続可能な発展科目 スペシャリスト型SDGsアイデアマインニング学生セミナー	1・2・3前		1		1	1					兼3
	SDGsの観点から見た地域開発セミナー	1・2・3後		1								兼3
	普遍的平和を目指して	1・2・3④		1								兼8
	医療情報リテラシー活用	1・2・3③		1		1						兼6
大学学域専門科目	リーダーシップ手法	1・2・3前		1								兼1
	イノベーション演習	1・2・3③		2								兼1
	事業創造概論	1・2・3②		1								兼1
	小計(7科目)	—	0	8	0	2	1	0	0	0		兼22
実践知の開発開発モジュール科目	Management and Entrepreneurship	1・2・3①		1								兼1
	Technology Strategy and R&D Management	1・2・3③		1								兼1
	Academic Writing II	1・2・3前後		1		20	19					兼3
	小計(3科目)	—	0	3	0	20	19	0	0	0		兼5
実践知の応用モジュール科目	Idea Mining Workshop	1・2・3前		2		1						
	Advanced Internship	1・2・3前後		2		1						
	Advanced Fieldwork	1・2・3前後		2		1						
	小計(3科目)	—	0	6	0	1	0	0	0	0		
博士課程後期専門科目	Seminar on Doctoral Dissertation	1~3	12			20	19					兼3
	小計(1科目)	—	12	0	0	20	19	0	0	0		兼3
合計(14科目)	—	12	17	0	20	19	0	0	0		兼26	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学学域共通科目	持続可能な発展科目 スペシャリスト型SDGsアイデアマインニング学生セミナー	1・2・3②		1		1	1					兼3
	SDGsの観点から見た地域開発セミナー	1・2・3後		1								兼3
	普遍的平和を目指して	1・2・3④		1								兼7
	医療情報リテラシー活用	1・2・3③		1		1						兼7
大学学域専門科目	リーダーシップ手法	1・2・3前		1								兼1
	イノベーション演習	1・2・3③		2								兼1
	事業創造概論	1・2・3前		1								兼1
	小計(7科目)	—	0	8	0	2	1	0	0	0		兼23
実践知の開発開発モジュール科目	Management and Entrepreneurship	1・2・3②		1								兼1
	Technology Strategy and R&D Management	1・2・3③		1								兼1
	Academic Writing II	1・2・3前後		1		23	16					兼3
	小計(3科目)	—	0	3	0	23	16	0	0	0		兼5
実践知の応用モジュール科目	Idea Mining Workshop	1・2・3前		2		1						
	Advanced Internship	1・2・3前後		2		1						
	Advanced Fieldwork	1・2・3前後		2		1						
	小計(3科目)	—	0	6	0	1	0	0	0	0		
博士課程後期専門科目	Seminar on Doctoral Dissertation	1~3	12			23	16					兼3
	小計(1科目)	—	12	0	0	23	16	0	0	0		兼3
合計(14科目)	—	12	17	0	23	16	0	0	0		兼28	

卒業要件及び履修方法

修了に必要な単位数を17単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。

【修了要件】

科目区分	要修得単位数
大学院共通科目／持続可能な発展科目	1単位以上(選択必修)
／キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上(選択必修)
実践知の開発モジュール科目	1単位以上(選択必修)
実践知の応用モジュール科目	2単位以上(選択必修)
博士論文モジュール科目	12単位(必修)
合計	17単位以上

【授与する学位の決定方法について】

学生は、入学直後に、主任指導教員と相談し研究内容及び研究題目等の研究計画を作成し、主任指導教員は、学生の入学前の勉学内容と入学後の研究計画を考慮し、2名以上の副指導教員(主任指導教員とは研究領域が異なる本研究院の専任教員1名以上を含む。)を決定し、この3名以上の指導教員体制により、博士論文の執筆及び学位取得に至るまで学生の研究指導を行う。

本研究院は、「Cyber Physical System」「Smart Mobility」「Smart Energy」「Smart Agriculture」「Global Health and Medical Science」「Social Innovation Science」の6つの研究領域からなるトランスディシプリナリーな教育研究を特長とし、ディシプリンの異なる複数の指導教員が異なる視点で協働して指導することで、学生は周辺分野の研究動向を踏まえながら研究を進める。博士論文候補者試験(2年次前期～3年次前期)、博士論文予備審査会(3年次後期)を経て、当該学生の学位論文の内容、研究業績及び履修内容に応じて、博士(学術)、博士(工学)、博士(情報科学)、博士(農学)、博士(保健学)、博士(医科学)、博士(経済学)の学位の中からふさわしいものを教授会で決定し授与する。

卒業要件及び履修方法

修了に必要な単位数を17単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。

【修了要件】

科目区分	要修得単位数
大学院共通科目／持続可能な発展科目	1単位以上(選択必修)
／キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上(選択必修)
実践知の開発モジュール科目	1単位以上(選択必修)
実践知の応用モジュール科目	2単位以上(選択必修)
博士論文モジュール科目	12単位(必修)
合計	17単位以上

【授与する学位の決定方法について】

学生は、入学直後に、主任指導教員と相談し研究内容及び研究題目等の研究計画を作成し、主任指導教員は、学生の入学前の勉学内容と入学後の研究計画を考慮し、2名以上の副指導教員(主任指導教員とは研究領域が異なる本研究院の専任教員1名以上を含む。)を決定し、この3名以上の指導教員体制により、博士論文の執筆及び学位取得に至るまで学生の研究指導を行う。

本研究院は、「Cyber Physical System」「Smart Mobility」「Smart Energy」「Smart Agriculture」「Global Health and Medical Science」「Social Innovation Science」の6つの研究領域からなるトランスディシプリナリーな教育研究を特長とし、ディシプリンの異なる複数の指導教員が異なる視点で協働して指導することで、学生は周辺分野の研究動向を踏まえながら研究を進める。博士論文候補者試験(2年次前期～3年次前期)、博士論文予備審査会(3年次後期)を経て、当該学生の学位論文の内容、研究業績及び履修内容に応じて、博士(学術)、博士(工学)、博士(情報科学)、博士(農学)、博士(保健学)、博士(医科学)、博士(経済学)の学位の中からふさわしいものを教授会で決定し授与する。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

<p><大学院共通科目></p> <ul style="list-style-type: none">・教育効果に配慮し、「スペシャリスト型SDGsアイデアマイニング学生セミナー」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3②」に変更。・教員の見直しにより、「普遍的平和を目指して」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼7」に変更。・教員の見直しにより、「医療情報リテラシー活用」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼7」に変更。・教育効果に配慮し、「事業創造概論」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3前」に変更。 <p><実践知の開発モジュール科目></p> <ul style="list-style-type: none">・教育効果に配慮し、「Management and Entrepreneurship」の配当年次を「1・2・3①」から「1・2・3②」に変更。・教員の就任辞退、昇任及び採用により、「Academic Writing II」の専任教員の配置を「教授20」から「教授23」、「准教授19」から「准教授16」に変更。 <p><博士論文モジュール科目></p> <ul style="list-style-type: none">・教員の就任辞退、昇任及び採用により、「Seminar on Doctoral Dissertation」の専任教員の配置を「教授20」から「教授23」、「准教授19」から「准教授16」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	13 科目	0 科目	14 科目	1 科目 []	13 科目 []	0 科目 []	14 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考				
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	校舎敷地	951,632㎡	0㎡	0㎡	951,632㎡					
	運動場用地	244,009㎡	0㎡	0㎡	244,009㎡					
	小 計	1,195,641㎡	0㎡	0㎡	1,195,641㎡					
	そ の 他	1,133,812㎡	0㎡	0㎡	1,133,812㎡					
	合 計	2,330,018㎡	0㎡	0㎡	2,330,018㎡					
(2) 校舎	専 用	528,825㎡	0㎡	0㎡	528,825㎡	大学全体				
	(528,825㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(528,825㎡)						
(3) 教室等	講義室	217室	演習室	358室	実験実習室	1,424室	情報処理学習施設	5室	語学学習施設	7室
						(補助職員 20人)		(補助職員 21人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数						
	スマートソサイエティ実践科学研究院(博士課程後期)			39 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本			
		[うち外国書]	[うち外国書]					[うち外国書]		
		冊	種	点	点	点				
		スマートソサイエティ実践科学研究院	2,147,672 [1,275,142] (2,147,672 [1,275,142])	34,530 [24,012] (34,530 [24,012])	6 [7,410] (6 [7,410])	5,066 (5,066)	19,405 (19,405)	133 (133)	対象学部等の単位で特定できないため、大学全体の数	
計	2,147,672 [1,275,142] (2,147,672 [1,275,142])	34,530 [24,012] (34,530 [24,012])	6 [7,410] (6 [7,410])	5,066 (5,066)	19,405 (19,405)	133 (133)				
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	27,892㎡		2,378席		3,151,583冊					
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要							
	11,384㎡		野球場, 陸上競技場, サッカー・ラグビー場 外							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円		
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要										

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	広島大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
総合科学部	4	160	—	640	—	1.06	—	1.11	1.07	—	昭和49	—						
総合科学科	4	120	—	480	学士(総合科学)	1.07	—	1.13	1.09	—	昭和49	広島県広島市緑山一丁目7番1号						
国際共創学科	4	40	—	160	学士(総合科学)	1.04	—	1.04	1.01	—	平成30	同上						
文学部	4	130	3年次10	540	—	1.04	1.04	1.09	1.04	—	昭和24	—						
人文学科	4	130	3年次10	540	学士(文学)	1.04	1.04	1.09	1.04	—	平成9	広島県広島市緑山一丁目2番3号						
教育学部	4	425	—	1,760	—	1.02	—	1.05	1.03	—	昭和24	—						
第一類(学校教育系)	4	137	—	608	学士(教育学)	1.01	—	1.03	1.02	令和5	平成12	広島県広島市緑山一丁目1番1号	令和5年度から入学定員変更(157→137)					
第二類(科学文化教育系)	4	82	—	328	学士(教育学)	1.02	—	1.05	1.03	—	平成12	同上						
第三類(言語文化教育系)	4	73	—	292	学士(教育学)	1.01	—	1.05	1.01	—	平成12	同上						
第四類(生涯活動教育系)	4	81	—	324	学士(教育学)	1.04	—	1.06	1.05	—	平成12	同上						
第五類(人間形成基礎系)	4	52	—	208	学士(心理学)	1.06	—	1.11	1.06	—	平成12	同上						
法学部	4	170	3年次20	720	—	1.03	1.03	1.03	0.99	—	昭和52	—						
法学科(昼間コース)	4	140	3年次10	580	学士(法学)	1.03	1.03	1.04	1.01	—	平成7	広島県広島市緑山一丁目2番1号						
(夜間主コース)	4	30	3年次10	140	学士(法学)	1.01	—	1.01	0.89	—	平成7	広島県広島市中区東千田町一丁目1番9-9号						
経済学部	4	195	3年次10	800	—	1.02	—	1.05	1.01	—	昭和52	—						
経済学科(昼間コース)	4	150	3年次5	610	学士(経済学)	1.03	—	1.06	1.03	—	平成7	広島県広島市緑山一丁目2番1号						
(夜間主コース)	4	45	3年次5	190	学士(経済学)	1.01	—	1.04	0.96	—	平成7	広島県広島市中区東千田町一丁目1番9-9号						
理学部	4	230	3年次10(学部共通)	940	—	1.02	1.02	1.06	1.00	—	昭和24	—						
数学科	4	47	—	188	学士(理学)	1.02	—	1.12	1.03	—	昭和24	広島県広島市緑山一丁目3番1号						
物理学科	4	66	—	264	学士(理学)	1.00	1.00	1.07	1.01	—	平成10	同上						
化学科	4	59	—	236	学士(理学)	1.02	1.02	1.09	1.05	—	昭和24	同上						
生物科学科	4	34	—	136	学士(理学)	1.03	—	1.04	1.02	—	平成5	同上						
地球惑星システム学科	4	24	—	96	学士(理学)	1.05	—	1.05	0.98	—	平成4	同上						
医学部	6	118	—	712	—	1.00	—	1.04	1.00	—	昭和28	—						
	4	120	—	480	—	1.03	—	1.04	1.03	—	平成4	—						
医学科	6	118	—	712	学士(医学)	1.00	—	1.04	1.00	令和5	昭和28	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	令和5年度から入学定員変更(105→118)					
保健学科	4	120	—	480	学士(保健学)	1.03	—	1.04	1.03	—	—	—						
看護学専攻	4	60	—	240	学士(看護学)	1.03	—	1.03	1.02	—	平成4	同上						
理学療法学専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.03	—	1.03	1.03	—	平成4	同上						
作業療法学専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.03	—	1.06	1.03	—	平成4	同上						
歯学部	6	53	—	318	—	1.00	—	1.00	0.97	—	昭和40	—						
	4	40	—	160	—	1.00	—	1.00	0.98	—	平成21	—						
歯学科	6	53	—	318	学士(歯学)	1.00	—	1.00	0.97	—	昭和40	広島県広島市南区霞一丁目2番3号						
口腔健康科学科	4	40	—	160	学士(口腔健康科学)	1.00	—	1.00	0.98	—	—	—						
口腔保健学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.01	—	1.02	1.01	—	平成21	同上						
口腔工学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.00	—	0.98	0.96	—	平成21	同上						

薬学部	6	38	—	228	—	1.04	—	1.06	1.04	—	平成18	—	
	4	22	—	88	—	1.06	—	1.10	1.06	—	平成18	—	
薬学科	6	38	—	228	学士(薬学)	1.04	—	1.06	1.04	—	平成18	広島県広島市南区藤一丁目2番3号	
薬科学科	4	22	—	88	学士(薬科学)	1.06	—	1.10	1.06	—	平成18	同上	
工学部	4	445	3年次15	1,810	—	1.02	1.02	1.06	1.02	—	昭和24	—	
第一類(機械システム工学系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	—	—	平成13	広島県広島市緑山一丁目4番1号	平成30年度入学生より学生募集停止
第二類(電気・電子・システム・情報系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	—	—	平成13	同上	平成30年度入学生より学生募集停止
第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系)	4	150	3年次5	610	学士(工学)	1.01	—	1.04	0.99	—	平成30	同上	
第二類(電気電子・システム情報系)	4	90	3年次3	366	学士(工学)	1.03	1.03	1.07	1.04	—	平成30	同上	
第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)	4	115	3年次4	468	学士(工学)	1.01	1.01	1.06	1.02	—	平成13	同上	
第四類(建設・環境系)	4	90	3年次3	366	学士(工学)	1.03	—	1.10	1.06	—	平成30	同上	
生物生産学部	4	90	3年次10	380	—	1.04	—	1.07	1.03	—	昭和54	—	
生物生産学科	4	90	3年次10	380	学士(農学)	1.04	—	1.07	1.03	—	昭和54	広島県広島市緑山一丁目4番4号	
情報科学部	4	150	3年次5	400	—	1.06	—	1.14	1.05	—	平成30	—	
情報科学科	4	150	3年次5	400	学士(情報科学)	1.06	—	1.14	1.05	令和5	平成30	広島県広島市緑山一丁目4番1号	令和5年度から入学定員変更(80→150)
大学全体	4	2,177	3年次80	8,718	—	—	—	—	—	—	—	—	
	6	209	—	1,258	—	—	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項より修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「—」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<スマートソサイエティ実践科学研究院(博士課程後期)>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	小池 一彦 <令和5年4月> 博士(水産学)	スペシャルティスト型SDGsアイデア マイニング学生セミナー Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	久保 達彦 <令和5年4月> 博士(医学)	医療情報リテラシー活用 Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	江口 浩二 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	栗田 雄一 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	山本 透 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	石井 抱 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	高木 健 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	藤原 章正 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Idea Mining Workshop Advanced Internship Advanced Fieldwork Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	張 峻屹 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	馮 涛 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	市川 貴之 <令和5年4月> 博士(学術)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	松村 幸彦 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	小池 一彦 <令和5年4月> 博士(水産学)	スペシャルティスト型SDGsアイ デアマイニング学生セミ ナー Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	久保 達彦 <令和5年4月> 博士(医学)	医療情報リテラシー活用 Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	江口 浩二 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	栗田 雄一 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	山本 透 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	石井 抱 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	高木 健 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	藤原 章正 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Idea Mining Workshop Advanced Internship Advanced Fieldwork Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	馮 涛 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	市川 貴之 <令和5年4月> 博士(学術)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	松村 幸彦 <令和5年4月> 博士(工学)	Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	島田 昌之 <令和5年4月> 博士(獣医学)	専	教授	島田 昌之 <令和5年4月> 博士(獣医学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	西堀 正英 <令和5年4月> 博士(農学)	専	教授	西堀 正英 <令和5年4月> 博士(農学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	杉野 利久 <令和5年4月> 博士(農学)	専	教授	杉野 利久 <令和5年4月> 博士(農学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	丸山 史人 <令和5年4月> 博士(薬学)	専	教授	丸山 史人 <令和5年4月> 博士(薬学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	新福 洋子 <令和5年4月> Ph. D. in Nursing (米国)	専	教授	新福 洋子 <令和5年4月> Ph. D. in Nursing (米国)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	浦川 将 <令和5年4月> 博士(医学)	専	教授	浦川 将 <令和5年4月> 博士(医学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	市橋 勝 <令和5年4月> 博士(理学)	専	教授	市橋 勝 <令和5年4月> 博士(理学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	教授	吉田 雄一郎 <令和5年4月> Ph. D (Economics) (米国)	専	教授	吉田 雄一郎 <令和5年4月> Ph. D (Economics) (米国)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	若林 香織 <令和5年4月> 博士(理学)	専	准教授	若林 香織 <令和5年4月> 博士(理学)
		スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			スペシャリスト型SDGsアイ ディアマイニング学生セミ ナー Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	ANDRADE SILVA DANIEL GEORG <令和5年4月> 博士(情報理工学)	専	准教授	ANDRADE SILVA DANIEL GEORG <令和5年4月> 博士(情報理工学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	RAYTCHEV BISSER ROUMENOV <令和5年4月> 博士(工学)	専	准教授	RAYTCHEV BISSER ROUMENOV <令和5年4月> 博士(工学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	林田 智弘 <令和5年4月> 博士(工学)	専	准教授	林田 智弘 <令和5年4月> 博士(工学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	力石 真 <令和5年4月> 博士(工学)	専	准教授	力石 真 <令和5年4月> 博士(工学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	塚井 誠人 <令和5年4月> 博士(工学)	専	准教授	塚井 誠人 <令和5年4月> 博士(工学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	鹿嶋 小緒里 <令和5年4月> 博士(環境学)	専	准教授	鹿嶋 小緒里 <令和5年4月> 博士(環境学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	李 漢洙 <令和5年4月> 博士(工学)	専	教授	李 漢洙 <令和5年4月> 博士(工学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	宮岡 裕樹 <令和5年4月> 博士(学術)	専	准教授	宮岡 裕樹 <令和5年4月> 博士(学術)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	布施(星) 正暁 <令和5年4月> 博士(工学)	専	准教授	布施(星) 正暁 <令和5年4月> 博士(工学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	金田一 清香 <令和5年4月> 博士(工学)	専	准教授	金田一 清香 <令和5年4月> 博士(工学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	KUMRUNGSEE THANUTCHAPORN <令和5年4月> 博士(農学)	専	准教授	KUMRUNGSEE THANUTCHAPORN <令和5年4月> 博士(農学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	保坂 哲朗 <令和5年4月> 博士(農学)	専	准教授	保坂 哲朗 <令和5年4月> 博士(農学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	渡邊(大竹) 園子 <令和5年4月> 博士(学術)	専	准教授	渡邊(大竹) 園子 <令和5年4月> 博士(学術)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	TRAN DANG XUAN <令和5年4月> 博士(農学)	専	教授	TRAN DANG XUAN <令和5年4月> 博士(農学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	高橋 与志 <令和5年4月> 博士(学術)	専	教授	高橋 与志 <令和5年4月> 博士(学術)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	シャリフィ アユーブ <令和5年4月> 博士(工学)	専	教授	シャリフィ アユーブ <令和5年4月> 博士(工学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	NIRAJ PRAKASH JOSHI <令和5年4月> 博士(学術)	専	准教授	NIRAJ PRAKASH JOSHI <令和5年4月> 博士(学術)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
専	准教授	SIMANGAN DAHLIA COLLADO <令和5年4月> Doctor of Philosophy (オーストラリア)	専	准教授	SIMANGAN DAHLIA COLLADO <令和5年4月> Doctor of Philosophy (オーストラリア)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
			専	准教授	近藤 雅征 <令和5年4月> 博士(農学)
					Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	細野 賢治 <令和5年4月> 博士(農学) SDGsの観点から見た地域開発セミナー	兼任	教授	細野 賢治 <令和5年4月> 博士(農学) SDGsの観点から見た地域開発セミナー
兼任	教授	川野 徳幸 <令和5年4月> 博士(医学) 普遍的平和を目指して	兼任	教授	川野 徳幸 <令和5年4月> 博士(医学) 普遍的平和を目指して
兼任	教授	保田 浩志 <令和5年4月> 博士(工学) 普遍的平和を目指して	兼任	教授	保田 浩志 <令和5年4月> 博士(工学) 普遍的平和を目指して
兼任	教授	中坪 孝之 <令和5年4月> 理学博士 普遍的平和を目指して			
兼任	教授	田中 純子 <令和5年4月> 医学博士 医療情報リテラシー活用	兼任	教授	田中 純子 <令和5年4月> 医学博士 医療情報リテラシー活用
兼任	教授	吉村 健一 <令和5年4月> 博士(保健学) 医療情報リテラシー活用			
兼任	教授	三原 直樹 <令和5年4月> 博士(医学) 医療情報リテラシー活用	兼任	教授	三原 直樹 <令和5年4月> 博士(医学) 医療情報リテラシー活用
兼任	教授	大上 直秀 <令和5年4月> 博士(医学) 医療情報リテラシー活用			
			兼任	教授	吉永 慎治 <令和5年4月> 博士(保健学) 医療情報リテラシー活用
			兼任	教授	橋井 孝夫 <令和5年4月> 博士(医学) 医療情報リテラシー活用
兼任	教授	三須 敏幸 <令和5年4月> 博士(理学) リーダーシップ手法	兼任	教授	三須 敏幸 <令和5年4月> 博士(理学) リーダーシップ手法
兼任	教授	伊藤 孝夫 <令和5年4月> 博士(工学) Technology Strategy and R&D Management	兼任	教授	伊藤 孝夫 <令和5年4月> 博士(工学) Technology Strategy and R&D Management
兼任	教授	久保田 徹 <令和5年4月> 博士(工学) Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation	兼任	教授	久保田 徹 <令和5年4月> 博士(工学) Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
兼任	教授	金子 慎治 <令和5年4月> 博士(工学) Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation	兼任	教授	金子 慎治 <令和5年4月> 博士(工学) Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
兼任	准教授	岩本 洋子 <令和5年4月> 博士(理学) スペシャリスト型SDGsアイデアマイニング学生セミナー	兼任	准教授	岩本 洋子 <令和5年4月> 博士(理学) スペシャリスト型SDGsアイデアマイニング学生セミナー
兼任	准教授	長命 洋佑 <令和5年4月> 博士(農学) SDGsの観点から見た地域開発セミナー	兼任	准教授	長命 洋佑 <令和5年4月> 博士(農学) SDGsの観点から見た地域開発セミナー
兼任	准教授	友次 晋介 <令和5年4月> 博士(法学) 普遍的平和を目指して	兼任	准教授	友次 晋介 <令和5年4月> 博士(法学) 普遍的平和を目指して
兼任	准教授	山根 達郎 <令和5年4月> 博士(国際公共政策) 普遍的平和を目指して	兼任	准教授	山根 達郎 <令和5年4月> 博士(国際公共政策) 普遍的平和を目指して
兼任	准教授	VAN DER DOES LULI <令和5年4月> PhD (Social Sciences) (英国) 普遍的平和を目指して	兼任	准教授	VAN DER DOES LULI <令和5年4月> PhD (Social Sciences) (英国) 普遍的平和を目指して

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	掛江 朋子 <令和5年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	掛江 朋子 <令和5年4月> 博士(学術)
		普遍的平和を目指して			普遍的平和を目指して
兼任	准教授	牧野 恵美 <令和5年4月> Ph. D. (Management) (米園)			
		イノベーション演習 事業創造概論 Management and Entrepreneurship			
兼任	准教授	後藤 大策 <令和5年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	後藤 大策 <令和5年4月> 博士(経済学)
		Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation			Academic Writing II Seminar on Doctoral Dissertation
兼任	講師	柳本 大地 <令和5年4月> 博士(教育学)			
		スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー			
兼任	講師	三木 大樹 <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	三木 大樹 <令和5年4月> 博士(医学)
		医療情報リテラシー活用			医療情報リテラシー活用
			兼任	講師	秋田 智之 <令和5年4月> 博士(理学)
					医療情報リテラシー活用
兼任	助教	小原 静夏 <令和5年4月> 博士(農学)	兼任	助教	小原 静夏 <令和5年4月> 博士(農学)
		スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー			スペシャリスト型SDGsアイ ディアマイニング学生セミ ナー
			兼任	助教	ZOLLET SIMONA <令和5年4月> Doctor of Philosophy イノベーション演習
兼任	教授	隈元 美穂子 <令和5年4月> 修士(開発経済学)	兼任	教授	隈元 美穂子 <令和5年4月> 修士(開発経済学)
		普遍的平和を目指して			普遍的平和を目指して
兼任	教授	阿部 伸一 <令和5年4月> 学士(工学)	兼任	教授	阿部 伸一 <令和5年4月> 学士(工学)
		医療情報リテラシー活用			医療情報リテラシー活用
			兼任	教授	勝又 幹美 <令和5年4月> Master of Arts in Law and Diplomacy (米園) Management and Entrepreneurship
			兼任	准教授	柳本 大地 <令和5年4月> 博士(教育学) スペシャリスト型SDGsアイ ディアマイニング学生セミ ナー
兼任	講師	戴 容泰思 <令和5年4月> 博士(農学)	兼任	講師	戴 容泰思 <令和5年4月> 博士(農学)
		SDGsの観点から見た地域開発セ ミナー			SDGsの観点から見た地域開発 セミナー
			兼任	講師	濱本 亜実 <令和5年4月> 修士(システムデザイン・マ ネジメント学) 事業創造概論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各種の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 ・ その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- (専任教員関係)
- ・専任教員として就任（近藤雅征准教授）
 - ・李漢洙准教授、TRAN DANG XUAN准教授、高橋与志准教授、シャリフィアユーブ准教授が教授に昇任
 - ・就任辞退のため担当から削除（張峻屹教授）
- (兼任教員関係)
- ・兼任教員として就任（吉永信治教授、榎井孝夫教授、秋田智之講師、ZOLLET SIMONA助教）
 - ・後藤大策准教授が教授に昇任
 - ・担当から削除（中坪孝之教授、吉村健一教授、大上直秀教授、牧野恵美准教授、柳本大地講師）
- (兼任教員関係)
- ・兼任教員として就任（勝又幹英教授、柳本大地准教授、濱本亜実講師）

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6	-	-
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
20	19	0	0	39	0	23	16	0	0	39	0
(23)	(16)	(0)	(0)	(39)	(0)						
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
39	20	0	0			39	23	0	0		
(39)	(23)	(0)	(0)			(39)	(23)	(0)	(0)		
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
23	16	0	0	39	0	23	16	0	0	39	0
[3]	[△3]	[0]	[0]	[0]	[0]	[3]	[△3]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
39	23	0	0			39	23	0	0		
[0]	[3]	[0]	[0]			[0]	[3]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B)の教員のうち、定年を延長して採用している教員数)	完成年度時(上記(C)の教員のうち、定年を延長して採用する教員数)
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{39}{39} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{39} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	張 峻屹	R5.3	必修	Seminar on Doctoral Dissertation	①	R5.3 一身上の都合のため就任辞退			
				選択	Academic Writing II	①				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{39} = 2.56\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退者が担当していた授業科目は全て、他の専任教員が授業を実施するため、学生の履修等への影響はない。学生へは、学生便覧、時間割、ガイダンス等で周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	該当なし		
認 可 時 (令和〇〇年)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和〇〇年度)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和△△年度)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□度)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<スマートソサイエティ実践科学研究院(博士課程後期)>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・スマートソサイエティ実践科学研究院運営会議（構成員：5名） <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・令和5年4月に1回開催（5人参加）（以降、月1回開催予定） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・管理運営面での重要事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・全学FD研修会・研究院FD・新任教員のための研修会・学生による授業改善アンケート <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・全学で実施するFDへの参加・研究院独自で実施するFDへの参加・全学で実施する新任教員研修プログラムへの参加・学生情報システム「もみじ」を活用したアンケート <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・スマートソサイエティ実践科学研究院FD 令和5年6月に開催予定（研究院の全構成員対象）・新任教員研修プログラム 年間を通して実施予定（新任教員対象） 新任教員は、「必修」5科目と「選択必修」2科目以上を受講する。・学生による授業改善アンケート 年4回実施予定（ターム終了ごと）
--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・学生によるアンケート結果に基づき、授業の改善を図るとともにシラバスに反映させる予定

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・全学で実施する授業改善アンケートにより毎学期（ターム）終了時に実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業担当教員及び受講学生へは、学生情報システムを活用することにより集計結果の閲覧が可能となっている。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・今年度開設のため次年度以降記載予定

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・現在検討中

b 公表方法

- ・現在検討中

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和5年度中に大学機関別認証評価を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。